



京都大原記念病院グループ

KYOTO OHARA HUMAN CARE NETWORK

No.253

「和音」編集室

京都大原記念病院グループ

〒601-1246

京都市左京区大原井出町

164番地

TEL (075) 744-3160

FAX (075) 744-3161

Mail kyotoohara-hp@kyotoohara.gr.jp

<https://www.kyotoohara.or.jp>

2020年

10月

OCTOBER

健康指導や料理教室、幅広く

# 大原健幸の郷 始動

地域活動の会場にも

京都大原記念病院グループが、内閣府、及び京都府の共同補助事業として取り組む新たな施設が8月2日(日)に始動しました。高齢者共生型まちづくり事業多世代交流拠点「大原健幸の郷」です。新型コロナウィルスの感染拡大に伴い、当初計画より約4ヶ月遅れましたが、関係する多くの力を支えに無事にグランドオープンを迎えました。



京都大原記念病院グループのセラピストが指導する運動教室

施設は2階建て。1階は様々な取りそろえたトレーニングマシンでの運動が行えます。またフロア内のアイランドキッチン(名称:キッチンスタジオ大原)では、今後、管理栄養士が講師となって体の状態に合わせた食事のとり方などを学べる料理教室等を実施します。2階は多世代交流フロア。主には地域の団体が主体となった活動の会場として広くご利用いただけます。開所以来、今日に至るまで個人や団体などご利用いただく機会が増えています。

ご利用中の女性の一人は「近くにできるということで以前から期待していた。オー

プン以来、週に2回か3回程度利用している。少しずつ運動の成果も感じているので、これからも家の用事が落ち着く日は利用したい」と意欲的に運動の機会としてお役立てになっているお話をしてくださいま

した。

お話を聞いた日は、定期的に開催する「体力測定会」の日。体組成計による身体計測を始め、バランス能力、柔軟性、持



博寿苑横の農園にて

コスモス 台風に負けず育って



大原の街路や庭先でもよく見かけるコスモスは、日本の秋を代表する花と言えるでしょう。ただ茎が細くてゆらゆらと、台風や秋風で倒れてしまうことが多く、9月から10月半ばまでひやひや見守る日々です。今年も博寿苑横の農園で、元気に咲くことを願って種まきをしました。

(総務部 榎並宏之)

# 医療・介護のノウハウ還元

内閣府・京都府の共同補助事業



久力などをセラピスト(理学療法士、作業療法士)がマンツーマンで約1時間かけて計測します。身体の現状を知るとともに、その後の運動目標の指標としていただくことを狙いに今後も定期的に開催します。

別のある日、2階では大原地域社会福祉協議会が主催するすこやか教室が開催されていました。8名が掛け声や、他愛のない会話も交わしながら楽しげに体操に励まされました。大原健幸の郷はこうした地域活動の会場としてもご活用いただいているます。



ハurdleを乗り越えて体力の測定

各フロアのご利用目的はそれぞれですが、この拠点で行き交う人たちの交流が生まれ、それを活力に健康な毎日へつながっていくことを願っています。

8月1日(土)には開所に先立ち「オープニング施設説明会」を執り行ないました。会は三密回避のため最小限とし、大原自治連合会や地元の学校、また大原をはじめとする近隣地域の社会福祉協議会など地域の団体の関係者約20名にご参加いただきました。

会では事務局より当施設を開設する

狙いやサービス内容を説明し、児玉博行(京都大原記念病院グループ代表)、井端泰彦(大原健幸の郷館長)がこの施設に寄せる期待や抱負を述べ、松村淳



人数を絞って開かれたオープニング施設説明会

子氏(京都府健康福祉部長)からはお祝いと激励の言葉をいただきました。 ↗

## 大原健幸の郷 抱負と激励

### 【地域貢献の拠点に】



児玉博行  
京都大原記念病院  
グループ代表

この困難な状況のなかで、式典にお集まりいただきましたことを感謝申し上げます。本日は大原のみならず、八瀬、上高野、松ヶ崎、久多等各地域からもご参加いただいております。地域にご尽力なさっている皆さまとともに、老いも若きも集まる「多世代交流」や、ピンピン楽しく老いを迎える「健康長寿」を支えていきたい狙いを持って、内閣府、京都府の共同補助事業としてつくりあげた拠点です。この拠点を通じて、地域に貢献していきたいと考えています。

は、食生活の改善を通じた健康づくり。四つ目は口腔ケア。これらを通じて健康づくりを支えて行きたいと考えています。

私は京都府立医科大学の学長を経て、京都で全国に先駆けて39団体が参加して設立された高齢者の健康を支えていく京都地域包括ケア推進機構の理事長を務めておりました。ここで「認知症」「リハビリテーション」「看取り」これら三つのプロジェクトに携わった経験も活かして役割を発揮していきたいと考えています。

### 【共生社会への一歩】



松村淳子氏  
京都府健康福祉部長

高齢者、障害者、若者、子供まで地域で支え合い、生き生きと暮らしていく「共生社会」をつくりたい。京都府が進めるまちづくりの趣旨に、いち早く参加をいただき、本施設の整備などに多大な尽力をいただいた関係の皆さんに御礼申し上げます。高齢化が進むなか、住み慣れた地域で生き生きと暮らすには、地域内の交流が一番大切です。大原健幸の郷では、これまで京都大原記念病院グループで培われたリハビリテーションの知見を活かし、フレイル・介護予防プログラムを運営されると聞いています。また、地域のまちづくり拠点として、子供たちから高齢者の交流の場として活用されることに期待しています。

### 【四つの健康づくり】



井端泰彦  
大原健幸の郷館長

大原健幸の郷では大きく四つのプロジェクトがございます。一つ目は、トレーニング機器を活用し、セラピストやトレーナーの指導による健康な身体づくり。二つ目は、当館南側の畑での農作業。三つ目

### 井端館長に府が感謝状

京都府の発展に貢献した個人・団体をたたえる表彰の授与式が9月7日開かれ、井端泰彦・大原健幸の郷館長が府から特別感謝状を受けた。京都府立医科大学学長、京都地域包括ケア推進機構理事長として、教育・学術の振興を通じて府の発展と府民福祉の向上に貢献したと評価された。同館長は「大変栄誉ある賞をいただきました。これも励みに一層邁進します」と語った。

# 生涯現役の暮らし手助け ストレッチ動画をWeb公開



大原健幸の郷での活動はこれまでの病院や介護施設とは異質の取り組みとなります。リハビリテーションを中心に入療・介護の面展開による丁寧できめ細やかなサポートで安心を提供する。その志とともに歩み続けて来た経験と実績をもとに、ご利用いただく方がいつまでも自分らしく過ごしていただけるよう運営して参ります。また当館に所属するトレーナーが中心となり、肩こり予防のための自宅でで

きるストレッチを動画で制作しウェブサイトで公開しました。今後はこのような発信活動にも取り組んで参ります。

新しい生活様式を前提に、体調管理、館内衛生管理の徹底、三密の回避を基本方針とした予防策を講じながら運営しております。(新型コロナウイルスに関する感染予防対策方針はウェブサイトで公開しております)

何より優先すべきはご利用いただく皆さまの安心です。同一時間帯における人



コロナウイルス感染防止のため検温や手指消毒の協力をお願い

数制限や、来館時の検温や手指消毒の徹底などにご理解、ご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。引き続き、ご利用の皆さんにはご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

## 野菜をWEBで紹介 ライフピアで大原の農家

京都大原記念病院の有料老人ホーム「ライフピアハ瀬大原I番館」で8月17日、「お野菜のお話」と題した動画上映会があり、入居者が大原産野菜の特色について理解を深めた。

説明したのは大原で農場「オサムガーデン」を営む牧修さん(72)。大原出身で、印刷や織物業界で務めた後で農業に携わるようになって20年近い。約100坪の畑で、万願寺トウガラシ、ナス、キュウリ、オクラなど季節に応じた無農薬有機野菜全般を作っている。2015年末からライフピアなどグループ施設に野菜を納品するようになった。

ライフピアでは夏野菜・冬野菜の最盛期に牧さん訪問による「野菜のお話」が恒例になっており、今回は新型コロナウイルス感染リスクを減らすため、本人は来場せず事前に撮影した動画での開催となった。



牧さんは「今年はシカの食害や梅雨期の長雨などで収穫量は少なめですが、味良く育った新鮮な野菜をお届けします」と語った。

また、牧さん手作りの野菜も届き、入居者は「ガリガリ食べたらおいしそうや」などと話していた。

大原自家菜園にて収穫したものとなっています。

患者様・ご利用者は「豪華やね、おいしくてもっと食べたかった」「昔、糸うり自分で育

てていたの思い出した、おいしいわ」とたくさんの笑顔をいただきました。

コロナ禍で外に出ることがあまり出来ない中でも、食事を通じて京都らしさや四季折々の行事の雰囲気を味わう機会として楽しんでいただけたのではと思います。

今後も少しでも日々の活力になるようおいしく、見た目も楽しんでいただける行事食をお出していきたいと思います。(栄養科 屋比久美樹)

## 大原産糸うりで 送り火の行事食

夏の夜空を彩る「京都五山送り火」は、お盆の精靈を送る伝統行事です。例年であれば東山に大の字が浮かび上がり、続いて、松ヶ崎に妙・法、西賀茂に舟形、大北山に左大文字、そして、嵯峨に鳥居形が点ります。8月16日昼食は「送り火」の行事食として大原産の万願寺とうがらしやオクラを使用した「天ぷら」や「あらめ煮」「糸うりの中華和え」「フルーツ」を用意しました。小鉢に使用した糸うりは



送り火にちなんで提供した行事食

今後も少しでも日々の活力になるようおいしく、見た目も楽しんでいただける行事食をお出していきたいと思います。(栄養科 屋比久美樹)

## 初期消火、もう大丈夫

避難訓練



院内託児所の避難訓練が8月19日に行われ、保育士らが避難の方法や消火器の使い方を学んだ。

訓練は2階から出火し、自動火災報知設備のベルで気づいた保育士2名が、消火器で初期消火に努めたものの鎮火できず、幼児3名を連れて屋外に避難するとの想定で行われた。

## おおはら雅の郷・優雅祭



長寿を祝って獅子舞に頭をかんでもらう



勇壮な響きの和太鼓演奏



人気を集めた風船釣り



施設内を練る職員みこし



和太鼓の説明を聞くご入居者

## 平野ディサービス



ご利用者も職員もそろいの法被

新型コロナウイルスの感染防止のため、京都大原記念病院グループの各施設では、いずれも夏祭りを中止としております。

例年であれば職員の中から実行委員長を選び、趣向を凝らして準備します。例えばフライドポテトやたこ焼きなどの屋台や、歌謡ショーや和太鼓演奏、獅子舞と神輿の練り歩きなど、ご家族も交えてご利用者やご入居者に楽しいひと時を過ごしていただきます。

コロナウイルスは高齢の方ほど感染しやすいとされ、中止はやむを得ない措置ではありますが、来年の実施に向けて職員一同力を蓄えておりますので、何卒ご了承いただきますようお願ひいたします。

「和音」誌では昨年の写真を特集しました。雰囲気だけでもお楽しみください。

夏祭り  
…  
来年こそ

昨年の  
思い出

## 博寿苑・感謝祭



職員の楽器演奏で盛り上がる

京都大原記念病院グループウェブサイト  
公式Facebookのご案内

グループの取り組みなど日々、更新中!  
自然災害等により何らかの影響が生じた場合は  
こちらで情報発信します。ぜひこちらもご覧ください!



ウェブサイト



Facebook